

あなたも高教組へ

2 面・藤枝市平和展 ・性の学習会
・全臨教学習交流集会

しずおか

高教組しんぶん

第490号

2023年

9月22日

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
〒420-0004 静岡市葵区末広町 1-4
(高教組の事務所、移転しました)
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyouso.jp/
e-Mail info@s-koukyouso.jp
TEL (054) 254-6900 FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、
全教職員に配布しています

生活改善できる勧告を

～県人事委員会と交渉～

写真は、9/15 公務共闘会議に
よる人事委員会への要請行動



9月1日付で高教組は、県人事委員会に、給与水準の引き上げなどを求める要求書を提出し、9月8日の要請行動に続き、9月11日には人事委員長との交渉を行いました。

冒頭、深田執行委員長は、「人事院勧告(国)は昨年を上回る引上げ勧告であり、初任給若年層だけでなく再任用職員も含む俸給表全体の改善と共に、一時金も期末手当の引上げを勧告するなど、私たちの切実な要求の反映したものと評価する。しかし、物価高による生活悪化を改善するには至らず、非常勤講師や再任用職員の差別的な処遇についても手付かずのまま。コロナ禍での奮闘に報いない不十分な勧告であり不満である」と発言。

定数増が急務

公務員・教員の希望者は減少の一途、長時間労働の解消は待ったなし。「未配置」問題も深刻、病休・休職も高止まり。

「給特法」「標準法」の改正、人を増やす業務を減らすなどの実効ある対策を求めました。

小川委員長は、「公務員の採用に人事委員会は責任を持っている。希望者が

は、教職調整額や手当の引き上げ、ましてや採用試験日程の前倒しなど小手先の対応で実現するものではないことを繰り返して伝えました。

不祥事根絶のために

わいせつセクハラ事案が続いている。管理職の対応が不十分であり、各校で「初動対応マニュアル」ができていないこと、職員の実態調査を行わないなどの問題点を指摘しました。

小川委員長は、委員会でも案件にしている。制度の問題として承ておくに心えました。

最後に、公務教育職の魅力を取り戻せるような勧告報告を期待する旨を告げて交渉を閉じました。

「教育に臨時はない」

臨時教職員部 要請行動

8月29日に、臨教部は要請行動を行いました。高教組からは6人が参加し、高校教育課と特別支援教育課の人事班が対応しました。

山田臨教部長のあいさつ

その後、高教組からは、代替未配置、教職希望者減少の問題に触れ、経験のある臨時的任用・任期付き職員の正規採用と任用継続の保障、採用試験での経験加味、日程前倒しに対する負担軽減を求めました。

県教委からは、「地公法により優先する選考はできない。36か月以上勤務者には教職教養試験免除、経験を活かせるよう小論文などに替えるなどで配慮している」と回答。

非常勤講師の待遇改善

さらに組合から、学生の家庭教師アルバイト程度の非常勤講師の時給単価の見直しと、期末手当支給要件の緩和、名古屋市の残業代支給に触れ、超過勤務手当の予算化と業務としての認定を求めました。

県教委は、「私たちが答えられない問題」としながらも、「この8年、非常勤講師の単価2820円はほぼ変わらず、低いとは思っている。1単位時間を100分とする他県では、100分拘束、時給単価は半分と

主張

8月27日に「教育全国署名静岡県スタート集会」を行い、「少人数学級教職員増、教育予算増をめざして」と題する山崎洋介さんのお話を聞きました。

戦後の焼け跡でも再開された「青空教室」のように、教室や教科書がなくても教員と子どもがいれば教育は成り立ちます。教員は教育に

少人数学級、教職員増、 教育予算増をめざして

「高校標準法」が事実上の「学校設置基準」の役割を果たし、そこで算定された教員定数にもとづいて、国庫負担金と地方交付税によって教師の人員費が賄われます。

「乗する数」

義務標準法では、標準

の1.2倍にすると、小学

校では週24コマの持ち

時数が20コマに、中学

校では18が15に。その

のために10万人増、約

6257億円必要ですが、

にプラス4人。

つまり、少人数学級

にして学級数を増やす

と共に、乗する数を増

やせば(除する数を減

らせば)、教師の増員と

教員の人員費総額を増

やすことが可能です。

仮に乗する数を現在

し、2010年の少子

化の時に小1を35人と

し、静岡県をはじめ自

治体独自の努力による

増学級も可能としまし

たが、増教員にはなら

なかったため、逆に負

担増となり、2020

年からは増学級も減

る動きも見られます。

2020年ようやく

段階的に「35人」が法

制化。根本的には少子

化の原因の解消が必要

ですが、「少子化の今こそ

がチャンス。今でしょ!

と話しを結びました。

生徒数減少の今、少

人数学級にして現教員

数を維持する分には予

算増は不要。さらに、

1兆2600億円、小

中・高の30人学級が実

現。2兆1100億円

で授業料、学修費無償

化。1兆2000億円、私

学も無償化可能。合計

4兆5700億円を教育

予算に上乗せすると、

と、やっとOEC D平均

並み。

要望を上げ続けなけ

れば、「教育は受益者負

担」が根強い日本では

教育予算は削減されて

しまいます。受益者は

社会の未来です。

「思いは同じ、県教委

からも要望している。組

合からも国に強く要望し

てほしい」と応じました。

今後、確定交渉時の要

請行動、12月の専門部交

渉で、要求し続けます。

視座

新学期、キ
ツイですね。
どうも授業で
生徒たちの反
応がなくて。
工夫はしているつもりなの
ですが。力量不足を感じ
る残暑厳しい日々です。

▼現代人が一日に受け取る
情報量は、江戸時代の一
年分なんだとか。今、目
の前にいる生徒たちは、ス
マホ・ネイティブ。生まれ
た時からiPhoneなどに
囲まれ、高度な情報の取
捨選択能力が自然に身に
ついていくのでしょうか。必
要な情報やつまらないコ
ンテンツはバツサリと切り
捨てる。そうでもしないと、
過剰な情報に窒息させら
れてしまうという危機感
があるのでは。ゆえに、
ワクワク感のない授業は、
スルーされる時代なの
でしょうか▼先日、教
え子が遊びに来て、何の
ために我々は生きているの
か、という話になりました。
で、その日、着地したの
は、「見たことのない景色
を見るため」。とかく、我
々教師は、自分が見てきた
景色に生徒を導こうとしま
す。「古いカタ」にはめよ
う、と。しかし、生徒ととも
に「新しいカタチ」を作り、
見たことのない景色を共有
できたらいいな、と思いま
した▼その教え子とは、寿
司をつまみながら語ったん
です。カウターの。昔から
あるこの景色、このカタは
残したいね、なんてところ
にも着地。不易流行、変わ
らないものと変わるもの、
そのブレンドこそ、腕の見
せどころ。さ、新学期、
がんばらないようにがんば
りましょう。

語ろう・つながろう・立ち上がろう

全国臨時教職員問題学習交流集会 in 静岡

8月11日(土)13日、第53回全国臨時教職員問題学習交流集会がここ静岡市で開かれました。県外からの多くの参加者をはじめ、県内からも小中学校、高校、特別支援学校の教員、退職者など150名の参加がありました。

4年振りの対面開催で、再開を懐かしむ仲間、友康。リニア、浜岡原発、学校統廃合、自然災害、人口流出などの問題をユーモラスかつシリアスに演じ、ゆずりんの「合言葉はここから」を踊り付きで大合唱。

山口正会長からは、「人材確保」の名のもとに、入り口から教師の質の高さを求める発想に違和感、教員は同僚と共に育つものと指摘。



「合言葉はここから」

オープニングは現地実

学校教育

行委員会による「どうすないう非正規に支えられ、友康」。リニア、浜岡原発、学校統廃合、自然災害、人口流出などの問題をユーモラスかつシリアスに演じ、ゆずりんの「合言葉はここから」を踊り付きで大合唱。山口正会長からは、「人材確保」の名のもとに、入り口から教師の質の高さを求める発想に違和感、教員は同僚と共に育つものと指摘。

非常勤講師は授業だけのはずが、テスト作成、採点、成績付け、それらはタダ働き。期末手当もない。大学の講師が雇用終了の通告を受け労組結成、一コマを100分として

団体交渉、ストライキ、そして集団訴訟。孤立化されないよう団結が必要、などの問題提起。これらを受けて、グループに分かれて各県の情報交換と臨時教職員の思いを交流しました。2日目は、4つの分科会に分かれ、教員不足の問題や待遇改善、仲間づくりや日頃の実践について全国各地の取り組みや悩みを交流しました。

静岡からは、非常勤講師の待遇改善について人事委員会に措置要求し、マスコミも巻き込んで世論に訴えたことを紹介。京都では非常勤講師の一コマを100分として

参加者の感想

3日目は閉会集会。参加した方からは、「学校現場のピンチを变化のチャンスととらえ、より幅広い方々と連携して運動を作ろうという気持ちを新たにさせてもらった」

「しんどいときには仲間が必要。自分ごととしてとらえ、つながりたいと思える企画を作りたい。この人と一緒に活動したいと思える人にならねばと思った」

「他への転職を勧められるが、子どもの笑顔をみるのが好き。教師を続けたいと確信が持てた」

「教員採用に試験による選抜がほんとうに必要なのか。望む人、やりたい人がやれる範囲でできる体制ができないかあらためて考えさせられた」

「教育に臨時がなくなると、この集いが役目を終える日を夢見る」

などの声が寄せられました。

『性の教育ユニバーサルデザイン』配慮を必要とする人たちへの支援と対応

障害児学校部では、國分聡子さん(福祉型大学校カレッジまどか学長)をお招きし、性の学習会を開催しました。講演テーマは『性の教育ユニバーサルデザイン』。配慮を必要とする人々への支援と対応について、32名(うち組合員12名)の参加がありました。

大學の来年度開校に向けての準備に取り組みされています。講演ではまず、思春期の子どもの現状を紹介。漫画やネットなどからの情報を鵜呑みにしてしまつたために起きている問題や問題行動は、義務教育段階で性教育を学んでいないことが原因だと投げかけました。正しい知識を知らないままでは、性の加害者にも被害者にもなり得ます。

「性教育は、『心が生きて』と書くように生活そのもの、『生き方教育』であり、『自分の心とからだを知る』ことであり、①衣食住、②身体

③心 ④人との関わりを中心にあるのが『性』だと位置づけます。中でも、①衣食住や④人との関わりにおいて、我慢と満足のサイクル

言えることにつながると、という指摘は印象的でした。また、授業実践の数々は具体的で分かりやすいものでした。実物模型や妊娠・性感症など、疑似体験実験を通じての見える化」した教材・教具を準備すること、照れや恥づかしさを取り除くために「科学的な視点」を持ち、専門家の立場で毅然と授業をすること、生徒が表現したり、生徒同士が意見交換したりする場を設けることなど、参加者がこれから授業を行う際の指針となりました。

授業を受けた生徒から、授業を受けた生徒

「性の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

國分さんは今年の3月末まで特別支援学校に勤務し、高等部で知的障害のある生徒への性教育の実践、研究をされてきましたが、現在は、就労指導を急ぐ前にもう少しゆつたりとした学びの場が必要だと考え、福祉型

「性教育は、『心が生きて』と書くように生活そのもの、『生き方教育』であり、『自分の心とからだを知る』ことであり、①衣食住、②身体

③心 ④人との関わりを中心にあるのが『性』だと位置づけます。中でも、①衣食住や④人との関わりにおいて、我慢と満足のサイクル

言えることにつながると、という指摘は印象的でした。また、授業実践の数々は具体的で分かりやすいものでした。実物模型や妊娠・性感症など、疑似体験実験を通じての見える化」した教材・教具を準備すること、照れや恥づかしさを取り除くために「科学的な視点」を持ち、専門家の立場で毅然と授業をすること、生徒が表現したり、生徒同士が意見交換したりする場を設けることなど、参加者がこれから授業を行う際の指針となりました。

授業を受けた生徒から、授業を受けた生徒

「性の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)

「性」の学習会」は、これまで講演会や実践発表など様々な形式で行ってきました。今後とも参加型の企画運営をし、学びの場の提供をしていきたいと思ひます。(障害児学校部長 青島花恵)



私の歌声で、みなさんに愛と希望をお届けし、そして平和を実現したい
藤枝市平和展でオクサー・ナステバ「ユックさん公演」

